

## 各種統計・調査から自動車保有動向を見る

全国軽自動車協会連合会（全軽自動車、小谷忠幸会長）がまとめた軽自動車の世帯当たり普及台数によると、2012年3月末現在の100世帯当たり軽四輪車の普及台数は51・0台となり、昨年の50・3台からさらに0・7台普及が進んだ。

### 維持費や燃費への関心高まる

新車販売市場では消費者の車の維持費や燃費への関心の高まりから、経済性に優れた軽自動車の販売が好調に推移している。12年上半年における軽自動車販売台数（109万423台）は上期として過去最高を記録した。

保有においても軽の割合が年々高まり、00年には100世帯に40台を超え40・8台、11年には50台の大台を超える50・3台となっていた。

総務省調べの「住民基本台帳世帯数」と国土交通省調べの「自動車保有車両数」をもとに全軽自協が算出した。

12年3月末現在の世帯数は5417万1475世帯で前年同期比38万

8040世帯が増加した。

### 軽の普及進む

軽四輪車の保有台数は2760万7891台（前年同期比53万4312台増）で、この結果、世帯当たり軽四輪車の普及台数は100世帯に51・0台（1・96世帯に1台）となった。

地域別にみると世帯当たり普及率が高いのは鳥取、佐賀、島根、山形、長野、福井で、100世帯に90台以上が普及している。最高の鳥取は100世帯に99台普及している。

100世帯に80台以上の普及は沖縄、新潟、山梨、宮崎、徳島ほか全部で22県となり、前年より4県増加している。

### マイカー保有6年ぶり増加

また登録車と軽を合わせた家用乗用車の世帯当たり普及台数も増加し、1世帯当たり1・080台となった。

前年の1・076台から0・004台増えて6年ぶりに増加に転じた。

家用乗用車の世帯当たり普及台数は自動車検査登録情報協会（自検

協、後藤悦治郎理事長）が集計した。

12年3月末現在の家用乗用車の保有台数は5848万3021台だった。

長らく不振が続いていた新車販売が、エコカー補助金効果により好調であったことと、世帯数の伸び率が鈍化したことにより、6年ぶりに保有台数の伸び率が世帯数の伸び率を上回った。

世帯当たり普及台数は96年には1・0台となり、1世帯に1台時代を迎えた。過去最高の普及台数は06年の1・112台だった。

都道府県別の普及トップは福井の1・761台。続く富山は1・723台で、1・7台以上の普及はこの2県。

続いて群馬、山形、岐阜、栃木、茨城、長野、新潟、山梨、福島、三重、石川が1・5台以上の普及となっている。

世帯当たり1台以上普及しているのは42道県。反対に1台に満たないのは東京（0・481台）、大阪（0・676台）、神奈川（0・751台）、京都（0・859台）、兵庫（0・935台）だった。